

表紙の帯の色・初恋薊(はつこいあざみ)

「初恋薊」は五月の色、薊の花の色です。キク科に属する薊は、日本国中に自生し、五月〜六月の野山を彩ります。葉にとげがあり「刺草」という別名もありますが、花に惹かれると葉のとげに刺される「あざむく」が花の名の由来という説もあります。



風神雷神門



槐の会の仲間たち

浅草槐の会(あさくさえんじゅのかい)は、浅草寺のご本尊の聖観世音菩薩が、推古天皇三十六年(六百二十八)三月十八日、隅田川で網得され、槐の木(現在の駒形堂あたり)に安置されたといういわれから「浅草槐の会」と称しました。

浅草槐の会では、楽しい浅草情報を、ホームページ、瓦版、などで御紹介いたしておりますが、四季折々の浅草を自由に、楽しく散策していただきたく、地図、歳時、名所、旧跡、を中心に「日本の扉 浅草」を刊行いたしております。この冊子が、皆様の浅草散策のお役に立てば幸いです。浅草槐の会

日本の扉

浅草

浅草槐の会

慶祝江戸開府四百年

ASAKUSA

The Door Step to Japan

vol.6 春号

平成十五年癸未

浅草歳時

一月 (睦月) 初詣 浅草名所七福神もうで	二月 (如月) 三日 節分の日 八日 針供養	三月 (弥生) 十八日 浅草観音宗現会金龍の舞 二十五日 堂上げ堂下げ古式三社祭巡行	四月 (卯月) 浅草春の観光祭 八日 釈尊誕生日(花まつり) 十三日 白鷺の舞	五月 (皐月) 五日 宝の舞 十六、十八日 三社祭 三十一日 お富士様の植木市	六月 (水無月) 一、二十九、三十日 お富士様の植木市
七月 (文月) 九、十日 四万六千日 (ほおすき市) 二十六日 隅田川花火大会	八月 (葉月) 十五日 万霊燈籠供養会 二十六日 台東新能 三十日 浅草サンバカーニバル	九月 (長月) 二十三日 彼岸会	十月 (神無月) 浅草秋の観光祭・菊花展 一日〜十一月十六日 江戸開府四百年記念・奥山風景 二日、二十六日 平成中村座 十八日 金龍の舞・菊供養	十一月 (霜月) 三日 東京時代まつり 八、二十日 白鷺の舞 十五日 酉の市	十二月 (師走) 十七、十九日 歳の市 (羽子板市) 三十一日 除夜の鐘(弁天山)



お問い合わせ  
〒111-0032台東区浅草1-36-7  
浅草槐の会事務局  
URL <http://www.asakusa.gr.jp/>  
e-mail [info@asakusa.gr.jp](mailto:info@asakusa.gr.jp)  
発行 平成15年3月15日 vol.6

## 本尊示現会とお堂上げお堂下げ・古式三社祭巡行

三月十八日は、推古天皇三十六年（六二八年）に浅草寺のご本尊・聖観世音菩薩が宮戸川（現隅田川）からご示現された日で、いわば浅草の誕生日です。浅草寺でもこの日を記念して大法要が行われ、特別に紅い掛け紙を巻いた「紅札」が授与されています。また、境内では縁起に因んだ「金龍の舞」が氏子有志により奉演されます。



こうした浅草発祥の日に関連する行事として、平成十二年から浅草神社本社御輿本堂奉安（お堂上げお堂下げ）が行われるようになりました。今年も三月十五日にお堂上げ、十六日にお堂下げが執り行われ、また、お堂下げの後に二天門から江戸通りを経て駒形堂までの道程を巡行する「古式三社祭巡行」が行われる予定です。三基の本社御輿は、駒形堂にて参拝の後、雷門仲見世を経て浅草寺境内に安置され、夕刻には氏子衆の手によって浅草神社に還御されます。浅草寺僧侶による読経と浅草神社宮司の祝詞奏上を同時に行うこの行事は、神仏分離以前の観音祭とも呼ばれていた三社祭を一部再現し、五月十六日から十八日にかけて行われる三社例大祭のプロローグともなっています。

特に見物となっているのは、十五日の夕刻に行われるお堂上げです。重さ一トン以上もある一之宮・二之宮・三之宮の本社御輿三基が、松明に照らされた本堂階段を昇るようすは荘厳かつ優美で、見るものを圧倒します。同時に仲見世参道には「慈灯の道」（じとうのみち）として参道中央に蠟燭がともり、本社御輿の一夜奉安を慶祝します。皆様も、ぜひ一度ご覧ください。

## NHK朝の連続テレビ小説「こころ」で浅草が舞台に



江戸開府四百年にあたる今年の三月三十一日から、浅草と新潟を舞台としたNHK朝の連続テレビ小説「こころ」がスタートします。この撮影は昨年のもから始まって現在も進行中ですが、もちろん浅草の街でのシーンもあり、これには槐の会の仲間をはじめとした多くの浅草の人たちが協力しています。

昨年十一月の末には浅草のメインの行事である三社祭の撮影が行われ、二十二日には「宮入り」、二十六日には「浅草三カ町渡御」のそれぞれぞれのシーンが撮られました。冬の寒さの中でしたが、主役の中越典子さんをはじめ小池栄子さん、なごら健壺さん、勝俣州和さんなどの出演者や浅草の皆さんも熱気いっぱいでの撮影で、素晴らしいシーンが出来上がりました。協力した皆さんも、一年に二回の三社祭が楽しめて大満足といったところでした。



九月二十七日まで放映される「こころ」では、舞台となる浅草のシーンが数多く見られます。浅草においでの際は、そんな風景も楽しんでみてはいかがでしょうか。

